

第8次埼玉県地域保健医療計画
『南部保健医療圏 圏域別取組』取組実績
(令和6年度)

【重点取組：7項目】

- 1 歯科保健対策・・・・・・・・・・P 1～P 7
- 2 がん医療・・・・・・・・・・P 8～P 14
- 3 精神疾患医療・・・・・・・・・・P 15～P 23
- 4 感染症対策・・・・・・・・・・P 24～P 30
- 5 災害時医療・・・・・・・・・・P 31～P 37
- 6 在宅医療の推進・・・・・・・・・・P 38～P 46
- 7 医薬品等の安全対策・・・・・・・・・・P 47～P 52

1 歯科保健対策

目 標

一人一人の口腔の健康に関する自己管理能力を高めるとともに、県民の年齢や心身の状況に応じて適切かつ効果的な歯・口腔の健康づくりと生活習慣病予防のための保健対策を充実します。

主 な 取 組

- ・定期歯科検診及び保健指導の推進
- ・妊娠期から子育て期における母子の歯科口腔保健の推進
- ・乳幼児及び児童生徒のう蝕予防のためのフッ化物応用の推進
- ・歯科医療を受けることが困難な者に対する歯科口腔保健の推進
- ・医科歯科連携の推進
- ・高齢期の歯科口腔保健の推進

実 施 主 体

医師会、歯科医師会、市、保健所

[川口市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	・骨と歯の健康を考える会 in川口 開催 ・川口市が主催して実施される健康に係る事業に参画するとともに、健康相談事業等に医師を派遣するなど、事業に積極的な支援を行うことにより、市民の健康づくりに貢献する。 ・健康フェスティバルへの参加協力 ・介護フェスティバルへの後援 ・川口歯科医師会主催の多職種連携講演会に後援していく。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績 (令和6年度)	・骨と歯の健康を考える会 in川口 開催 第4回 令和6年7月26日 第5回 令和7年2月28日 ・川口市が主催して実施される健康に係る事業に参画するとともに、健康相談事業等に医師を派遣するなど、事業に積極的な支援を行うことにより、市民の健康づくりに貢献する。 ・健康フェスティバルへの参加協力 内科医師と整形外科医師を派遣し、健康相談事業を実施する。 令和6年9月29日 ・介護フェスティバルへの後援 令和6年1月25日 ・川口歯科医師会主催の多職種連携講演会に後援していく。
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[蕨田市医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・歯周病予防のための講習会の開催 ・全身疾患と歯周病との関係等の研修会の開催
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・蕨田歯科医師会と「M&D」研修会共催 ・蕨田歯科医師会主催の講演会への参加
自己評価	① (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[川口歯科医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・生涯を通じた歯・口腔の健康づくり ・母子歯科保健・学校歯科保健対策の推進 ・成人歯科保健医療対策の推進 ・高齢者や障害者に対する歯科保健医療体制の確保
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標) 12歳児でう蝕のない者の割合 87% (2029年度)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・成人歯科健診の受診率向上をリーフレットやイベントで図る ・「マタニティ・ママの歯の健康教室」の実施 ・1歳6か月児及び3才児歯科健診の実施 ・保育所・小学校でのフッ化物洗口実施 ・障害者施設での歯科健診と口腔衛生指導の実施 ・要介護者と障害者に対する訪問歯科健診の周知と訪問歯科センターの活用 ・定期的に「地域包括ケア学会」「骨と歯の健康を考える会」を開催 ・口腔機能向上プログラムをリニューアル(次年度から使用) ・学習支援教室に於ける「子供の健口支援事業」を実施 ・一時保護所入所者への口腔衛生指導実施
自己評価	① (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[蕨戸田歯科医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・各ライフステージにおける歯科保健について充実を図ると共に、それらがシームレスに行えるよう事業を考えていくことを基本理念とすること。 ・妊娠期から子育て期に関しては、埼玉県・埼玉県歯科医師会作成の「お口の母子手帳」を有効に活用し、妊産婦健診や母子保健法で定められている各年代の健診にて口腔保健の啓発に努める。 ・長きに渡りフッ化物応用については各行政と検討を続けているが、諸事情を考慮し、ポジティブなスタンスで取り組んでいくよう努力したいと考えている。各市共に“フッ化物塗布”については事業が少し進んできているが、今後は当地区においても埼玉県の小児う蝕予防対策事業を参考に保育園、幼稚園、小学校中学校におけるフッ化物洗口の実現に向けて取り組んでいきたいと考えている。 ・成人歯科保健に関しては、日本歯科医師会推進の“標準的な歯科健診・保健指導”の導入や、歯科検診においては、改訂された“歯周病検診2015”を利用し進めていきたいと考えている。 ・障害者歯科については、「障害者歯科相談医制度」を有効活用し、障害者歯科相談医の行動を更に活性化できるよう努力したいと考えている。 (相談医による施設等の健診、研修など) ・高齢者に関しては「口腔機能の向上(口腔ケア)」を中心に、市民公開講座等により啓発を行い、施設や通所サービスにおいても歯科医師会の方に委託が来るよう努力したいと考えている。
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・南部保健所歯科口腔保健連携会議については、今年度も対面方式で開催することができた。今後もグループワーク等の機会を利用しながら、各方面からの当地区における歯科医療の課題を吸い上げると共に、埼玉県歯科医師会の各種歯科保健事業について改めて説明、周知を行い、管内の歯科保健活動への更なる理解を求めて行きたい。 ・今年度の歯ッピー蕨は選挙日と重なってしまい、会場の都合で残念ながら中止となってしまったが、戸田市健康福祉の杜まつりについては無事に開催され、盛況のうちに終了することができた。今後もこれらのイベントを通して市民への歯科口腔保健意識の啓蒙活動を、引き続き積極的に行って行きたい。 ・戸田市の「糖尿病性腎症の重症化予防を目的とした歯科に係る取り組み」についても、糖尿病と歯周病の相関等に触れながら、対象者の当該疾患に対する理解を深められるように適宜指導を行って行きたい。 ・埼玉県歯科医師会主催の「埼玉県歯科口腔保健推進計画に基づく疾患別の講習会」等の周知を行い、講習を修了した登録医療機関を増やすことに努めた。 ・協会けんぽの特定健診会場での歯科健診が、令和3年から蕨市でも行われるようになったが、今年度も対象者に対しては口腔疾患と生活習慣病との関連や、特定保健指導の必要性について言及しながら、広く理解が得られるように努めた。 ・今年度は埼玉県及び埼玉県歯科医師会主催の「ライフコース型小児期歯科保健研修会」において、戸田市の社会福祉法人むつみ会 むつみ保育園の阿部敬園長先生が、昨年度のフッ化物洗口の事例発表に続き、フッ化物洗口による実際の効果についてお話をされた。このようにフッ化物洗口に大変熱心に

	取り組んでいる方々もおられることから、当地区における保育園、幼稚園、小・中学校におけるフッ化物洗口の実現に向けて、引き続き広く理解を求めていきたい。
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[川口市長寿支援課]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	高齢者に対し、介護予防を目的とした口腔機能向上の必要性についての教育や口腔清掃の自立支援、摂食・嚥下機能等の向上支援に関するプログラムによる口腔教室を実施する。
関連する指標	（現状を示す指標）特になし （目標とする指標）特になし
年度ごとの 取組実績 （令和6年度）	65歳以上で要介護認定を受けていない高齢者を対象に、口腔機能の向上を目的とした「口腔教室」を市内公民館等で21教室実施した。（1教室6回、参加人数139人）
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[川口市保健所健康増進課・地域保健センター]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	※記載のないものは通年実施 ・妊婦歯科健康診査：月1回 ・1歳6か月児歯科健康診査 ・フッ化物塗布（1歳6か月児～3歳未満児を対象に3回） ・3歳児歯科健康診査 ・成人歯科健康診査・歯科ドック ・口腔がん検診 ・訪問歯科健康診査 ・川口市歯と口の健康フェスティバル：年1回（6月第1日曜日） （歯科健康相談。ブラッシング指導等）
関連する指標	（現状を示す指標）受診者数、受診率、来場者数 （目標とする指標）前年度を上回る受診率、受診者数、来場者数

年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・妊婦歯科健康診査（実施回数・受診者数）：12回・123名 ・1歳6か月児歯科健康診査（受診者数・受診率）：2,721人・68.8% ・フッ化物塗布（延べ受診者数）：5,585人 ・3歳児歯科健康診査（受診者数・受診率）：3,790人・92.4% ・成人歯科健康診査（受診者数・受診率）：3,892人・0.8% ・歯科ドック（受診者数・受診率）：1,518人・0.3% ・口腔がん検診（受診者数・受診率）：1,904人・0.4% ・訪問歯科健康診査（受診者数）：78人 ・川口市歯と口の健康フェスティバル（来場者数）：569人
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた） ☒ B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[蕨市保健センター]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	
関連する指標	（現状を示す指標） （目標とする指標）
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	【歯周疾患検診】 ・歯周疾患検診とがん検診の受診券を一体型で通知（6月） ・対象者に8月と10月に受診再勧奨通知を発送 【20歳の歯科疾患予防推進事業】 ・希望者にはパノラマレントゲン検査を実施 ・成年式でのチラシ配布による受診勧奨 ・対象者に2月に受診再勧奨通知を発送 【2歳児フッ化物塗布事業】 ・赤ちゃん訪問、1歳6か月児健診、健康講座等実施時に周知 【令和6年度歯周疾患検診（節目）】 ・受診率：9.6% 【令和6年度20歳の歯科疾患予防推進事業】 ・受診率：8.3% 【令和6年度2歳児フッ化物塗布事業】 ・受診率：43.5% 【令和6年度妊婦歯科健診】 ・受診率：32.3% 【介護予防教室】 ・フレイル予防教室の中でオーラルフレイル講座を実施
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた） ☐ B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[戸田市福祉保健センター・戸田市親子健やか室]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	【福祉保健センター】 - 成人歯科保健の充実 【親子健やか室】 - 妊娠期から乳幼児期の歯科保健の推進 - 幼児歯科健診の充実 - 各健診でのう蝕罹患を低下 - 児童生徒のう蝕予防の推進 - 小中学校での歯科保健の推進
関連する指標	(現状を示す指標) 【福祉保健センター】 歯科健診の受診率 【親子健やか室】 乳幼児歯科健診受診率 3歳児でのう蝕の無い者の割合 (目標とする指標) 【福祉保健センター】 歯科健診の受診率 【親子健やか室】 乳幼児歯科健診の受診率 80% 3歳児でのう蝕の無い者の割合 90%
年度ごとの取組実績 (令和6年度)	【福祉保健センター】 ①成人歯科健診を20・30・40・50・60・70歳の対象者に9月～11月に実施した。9月未受診者である20・30・40歳に対して、10月に再勧奨を実施した。(受診者：999名) 歯科健康教育(いきさわやか相談)を月1回実施した。(参加者：100名) 出前講座や依頼講座を通年で実施した。(参加者：265名) ②通いの場(介護予防教室)において、オーラルフレイル予防の講話および実技実習を実施した。 【親子健やか室】 ①母子健康手帳交付時の面接にて歯周病予防の周知、ワンポイントブラッシング指導を実施 ②乳幼児健診で歯科健診(1歳8か月1078人・2歳6か月884人・3歳6か月1049人)、フッ化物歯面塗布(1歳8か月929人・2歳6か月721人・3歳6か月701人)の実施。 ※令和5年度からう蝕のある児へもフッ化物歯面塗布を実施。 ③小学校2年生の親子対象に「第1大臼歯の虫歯予防」の講話、模型上でブラッシング指導を実施
自己評価	Ⓐ (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[埼玉県南部保健所]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・ 歯科口腔保健推進事業：会議の開催（1回／年）
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
年度ごとの 取組実績 （令和6年度）	・ 歯科口腔保健連携会議の開催 日 程 令和7年1月23日 参加者 管内歯科医師会、市保健衛生主管課担当者、障害福祉課、 介護保険課、地域包括支援センター等 16名 内 容 「埼玉県歯科医師会地域保健部の活動について」 「第4次歯科口腔保健推進計画について ～埼玉県の歯科保健について～」 「乳児期からの口腔機能発達不全症対策について」 グループワーク 「歯科口腔保健の現状と課題～その解決に向けて～」
自己評価	☒ A （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

2 がん医療

目 標

誰でもが、がんに関する正しい知識を持ち、避けられるがんを防ぐことや、安心かつ納得できるがん医療や支援を受け、尊厳を持って、暮らせることを目指します。

主 な 取 組

- ・喫煙による影響対策の推進
- ・がん検診及び精密検査の受診率並びに検診の質の向上
- ・社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援
- ・がん患者とその家族の療養生活の質の向上

実 施 主 体

医師会、歯科医師会、薬剤師会、市、保健所

[川口市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	・肺がん結核検診、大腸がん検診、乳がん検診、子宮がん検診、胃がん内視鏡検診の実施 ・地域がん診療連携拠点病院による市民公開講座を後援 ・部会、懇話会、カンファレンスでのがん症例勉強会等の実施
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績(令和6年度)	・肺がん検診については、123の医療機関で31,784人を実施。二重読影会は年45回開催し18,832件を読影した。 ・大腸がん検診については、146の医療機関で37,440人を実施。 ・乳がん検診についてはセット検診を12の医療機関で11,404人を実施。 ・子宮がん検診については、15の医療機関で24,958人を実施。 ・胃がん内視鏡検診については、59の医療機関で8,055人を実施。二重読影会は年31回開催し8,129件を読影した。 ・前立腺がん健診については、145の医療機関で1,280人を実施。市民の検診機会の拡充と健康保持の推進に努めた。 ・地域がん診療連携拠点病院による市民公開講座を後援 ・部会、懇話会、カンファレンスでのがん症例勉強会等の実施 ※新興感染症拡大防止のため、検診事業においては行政と連携し、市民の安全を最大限に考慮し事業を行っていく。 また、講演会については密を避けるため、オンラインでの開催を検討していく。
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[蕨戸田市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	・乳がん検診及び精密検査精度向上のため、乳がんマンモグラフィー読影認定医を養成する。 ・蕨市民、戸田市民の胃がん検診と胃がん内視鏡検査の拡大。乳がん検診の充実。 ・埼玉県医師会主催の6がんセミナーへの参加 毎年、年度末に県民健康センターにてがん撲滅に向けてのセミナーを開催している。（胃、大腸、肝臓、子宮、乳腺、肺） ・地域がん診療連携拠点病院を中心とした近隣の中核病院と病院連携の会を開催する。 ・全面禁煙、空間分煙実施施設増加への推進
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
年度ごとの取組実績（令和6年度）	・肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がん検診を市民に実施 ・肺がん、胃がん、胃がん内視鏡読影会の実施 ・胃がん読影勉強会の実施 ・埼玉県医師会主催のがんセミナーへの参加 ・がん拠点病院と連携し、緩和ケアセミナーの実施
自己評価	Ⓐ （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[川口歯科医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	・科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実 ・患者本位で持続可能ながん医療の提供
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
年度ごとの取組実績（令和6年度）	・会員に対して口腔がん検診のための研修会を実施 ・口腔がん検診の受診率を増やすための周知活動を行う ・川口市立医療センター、博慈会記念総合病院、東京医科大学病院等の歯科口腔外科とのがん連携の構築 ・がん患者医療連携登録歯科医療機関を増やす
自己評価	Ⓐ （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[蕨戸田歯科医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・ 歯科医師会会員の診療所における禁煙・分煙の徹底。 ・ 国立がんセンター、埼玉県立がんセンターと連携し、がん患者の周術期口腔機能管理を行うための認定歯科医の増加。（研修1～3の終了者の増加） ・ 地元の病院との連携の会（研修会）への積極的な参加 ・ ターミナルの患者さんに対する「口腔ケア」に対応するための研修会への参加による歯科医師のスキルアップ。 ・ 戸田中央病院からのがん連携紹介患者数の増加 ・ 川口医療センターへの連携登録医を増やす。
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
年度ごとの 取組実績 （令和6年度）	・ 国立がんセンター、埼玉県立がんセンター等と連携するために必要な知識を修得した、がん医療連携登録歯科医の増加を図るため、登録歯科医増加に向けて、埼玉県歯科医師会主催のDVDによる全国共通がん医科歯科連携講習会（WEB開催）への会員の参加を促した。 ・ 戸田中央病院とのがん医科歯科連携を進めるための体制が未だ十分とはいえない状況にある。今後、同病院との緊密な連携を構築するに当たって、がん患者の周術期口腔ケア、口腔管理の体制の強化をこれまで以上に積極的に進めて行きたい。
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた） ☒ B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[川口薬剤師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・ がん検診受診の啓発 ・ 薬局敷地内全面禁煙の推進 ・ がんに関する学術講演会の企画及び参加
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
ごとの 取組実績 （令和6年度）	・ がんに関する学術講演会の実施及び参加 令和6年6月10日「乳癌周術期治療のまとめとトレンド」 6月28日「意思決定困難な乳がん患者に治療を行ってよいのか」 11月2日「生活習慣病とがん検診の重要性」 ・ がん検診受診啓発ポスターの掲示 ・ 薬局敷地内全面禁煙の掲示
自己評価	☒ A （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[蕨市地域薬剤師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	早期発見・早期治療でがんの重症化をおさえる為、がん検診の励行
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	50%未満の健診率を少しでもあげたい。店頭などでの啓発活動を行っていく。
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) ☒ C (ほとんど達成できなかった)

[戸田市薬剤師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	戸田中央総合病院主催のがん治療に関する研修会への参加と協力 病院主催の研修会の開催に応じて会員内への周知予定
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた) ☒ B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[川口市保健所健康増進課・地域保健センター]

具体的な取組と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	がん検診受診率の向上																											
	検診名	R5受診率	令和6～11年度	実施期間																								
	胃がん内視鏡検診	5.1%	前年度を上回る	4月～翌年2月																								
	大腸がん検診	10.3%		6月～翌年2月																								
	胃がんレントゲン検診	0.5%																										
	肺がん・結核検診	8.8%																										
	子宮頸がん検診	13.4%																										
	乳がん検診	11.6%																										
	前立腺がん検診	4.8%																										
	・新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業では、該当者へ無料クーポン券を配布 ・精密検査結果の把握を進める																											
関連する指標	(現状を示す指標) 受診率																											
	(目標とする指標) 前年度を上回る受診率																											
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	<table><tr><td>検診名</td><td>受診者数</td><td>受診率</td></tr><tr><td>胃がんレントゲン検診</td><td>1,710人</td><td>0.5%</td></tr><tr><td>胃がん内視鏡検診</td><td>8,055人</td><td>5.3%</td></tr><tr><td>肺がん・結核検診</td><td>31,784人</td><td>8.9%</td></tr><tr><td>大腸がん検診</td><td>37,440人</td><td>10.4%</td></tr><tr><td>子宮頸がん検診</td><td>24,958人</td><td>13.7%</td></tr><tr><td>乳がん検診</td><td>11,404人</td><td>12.0%</td></tr><tr><td>前立腺がん検診</td><td>1,280人</td><td>5.3%</td></tr></table>				検診名	受診者数	受診率	胃がんレントゲン検診	1,710人	0.5%	胃がん内視鏡検診	8,055人	5.3%	肺がん・結核検診	31,784人	8.9%	大腸がん検診	37,440人	10.4%	子宮頸がん検診	24,958人	13.7%	乳がん検診	11,404人	12.0%	前立腺がん検診	1,280人	5.3%
	検診名	受診者数	受診率																									
	胃がんレントゲン検診	1,710人	0.5%																									
	胃がん内視鏡検診	8,055人	5.3%																									
	肺がん・結核検診	31,784人	8.9%																									
	大腸がん検診	37,440人	10.4%																									
	子宮頸がん検診	24,958人	13.7%																									
	乳がん検診	11,404人	12.0%																									
	前立腺がん検診	1,280人	5.3%																									
	※(参考) 集団検診(検診車)における1時間あたりの最大受診人数																											
<table><tr><td></td><td>胃がん検診</td><td>乳がん検診</td></tr><tr><td>令和元年以前</td><td>24人</td><td>12人</td></tr><tr><td>令和2年～令和5年</td><td>12～13人</td><td>9～10人</td></tr><tr><td>令和6年</td><td>13人</td><td>12人</td></tr></table>					胃がん検診	乳がん検診	令和元年以前	24人	12人	令和2年～令和5年	12～13人	9～10人	令和6年	13人	12人													
	胃がん検診	乳がん検診																										
令和元年以前	24人	12人																										
令和2年～令和5年	12～13人	9～10人																										
令和6年	13人	12人																										
自己評価	Ⓐ (ほぼ目標が達成できた)																											
	B (半分程度目標が達成できた)																											
	C (ほとんど達成できなかった)																											

[蕨市保健センター]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	
--	--

関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・受診案内を全戸配布及び個別検診対象年齢である20歳以上の女性・40歳以上の男性に個別通知し普及啓発を図る。 ・禁煙推進の普及啓発 ・関係機関に敷地内・屋内禁煙の普及啓発 【令和6年度がん検診受診率：地域保健・健康増進事業報告】 肺がん：9.0% 胃がん：4.6% 大腸がん：6.3% 子宮がん：16.0% 乳がん：15.2%
自己評価	☒ A (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[戸田市福祉保健センター]

具体的な取組と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	① がん検診受診率の向上のための取組実施 ②精密検査未受診者への受診勧奨の実施 ③喫煙、受動喫煙防止対策の実施 ④がん予防教育及びがん啓発活動の実施 ⑤がん患者とその家族の療養生活の質の向上を図る取組実施
関連する指標	(現状を示す指標) がん検診受診率
	(目標とする指標) がん検診受診率の向上
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	①がん検診受診率の向上 ・対象者への個別通知の実施 84,182人に郵送 ・広報、ホームページ等で周知 企業等と連携して普及啓発(がん防災マニュアルの配布) ・未受診者への受診勧奨 初回通知を送付した者のうち、対象となるがん検診(前立腺を除く)を1つでも受診していない検診がある20歳、40歳、45歳、50歳、60歳、(年齢は令和6年4月1日現在)に対して郵送 9,305人 ・受診率(令和6年度 地域保健・健康増進事業報告より) 胃がん 3.2%、肺がん 12.8%、大腸がん 8.8% 子宮頸がん 10.1%、乳がん 7.9% ② 精密検査受診率の向上 ・精密検査未受診者(一次健診で要精密検査となっているが、3～4か月を過ぎても医療機関から精密検査結果連絡票が福祉保健センターに届いていない 80

	歳未満の人）に対し、電話にて受診勧奨を行った。受診勧奨対象者(未受診者等)468 人に対し、電話勧奨を 750 件行った（再電話含む） ③喫煙対策の実施 ・市内、飲食店における「戸田市認定禁煙実施店」の登録店舗 現在83 件 ④がん啓発事業の実施 ・がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間（10 月）に、健康情報ステーション（市内2 か所）で啓発を実施 ・健康福祉の杜まつりにおいてがん啓発ブースを設営実施 1012 人参加 ・10 月に市民向け公開講座がん講演会を実施 26 人参加 ⑤がん患者とその家族の療養生活の質の向上事業 ・がん患者医療用補正具購入補助金 実績 43 人 ・ターミナルケア在宅療養生活支援補助金 実績 0 人
自己評価	☒ A （ほぼ目標が達成できた） ☐ B （半分程度目標が達成できた） ☐ C （ほとんど達成できなかった）

[埼玉県南部保健所]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	・健康増進法の一部を改正する法律のに基づき、埼玉県受動喫煙防止対策実施施設等認証制度を実施（令和元年6月1日から継続） ・認証制度及び条例に基づく届出について、保健所実施の会議や研修会等を通じ周知を図り、認証施設数の増加を図る。
関連する指標	（現状を示す指標） （目標とする指標）
年度ごとの取組実績（令和6年度）	・埼玉県受動喫煙防止対策実施施設等認証施設 令和6年度の認証数：0施設 令和元年度からの累計数：76施設 ・食品営業許可更新の際、来所者へ制度の周知（6回、50施設） ・食品衛生責任者実務講習会において周知（平成7年2月6日、91施設）
自己評価	☒ A （ほぼ目標が達成できた） ☐ B （半分程度目標が達成できた） ☐ C （ほとんど達成できなかった）

3 精神疾患医療

目 標

医療機関の役割分担・連携を推進し、多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築を図って、精神障害者が、精神疾患の悪化や再発を予防しながら、地域社会の一員として、安心して自分らしい暮らしをすることができるように支援します。

主 な 取 組

- ・精神保健福祉相談・訪問支援体制の強化
- ・地域生活支援体制の整備
- ・ひきこもり対策の推進
- ・認知症対策の推進
- ・依存症対策

実 施 主 体

医師会、市、保健所

[川口市医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・自殺対策の推進 うつ病等に係る学術講演会の開催 ・認知症対策 認知症診療連絡協議会の運営 認知症に係る学術講演会等の開催 埼玉県医師会主催の認知症診療対応力向上研修会への参加
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・自殺対策の推進 うつ病等に係る学術講演会を開催した。 ・認知症対策 認知症診療連絡協議会を運営した。 認知症に係る学術講演会等を開催した。 埼玉県医師会主催の認知症診療対応力向上研修会に参加した。
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[蕨田市医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・うつ病の診療、支援基盤の強化事業への協力 ・認知症疾患医療センターとの連携と協力 ・当医師会学術講演会でうつ病及び認知症等の講演会を開催する。 ・自殺予防のための研修会及び講習会を実施する。
--	---

関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・認知症サポート医研修会への参加 ・認知症疾患医療センターと連携し、研修会への参加 ・学術講演会の開催 ・蕨市の認知症初期集中支援事業の受託
自己評価	㊦ (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[川口歯科医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・心の健康 ・精神医療対策の充実と地域ケアの推進 ・認知症ケア
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・川口市心身障害福祉センターわかゆり学園で歯科保健指導研修会を開催 ・障害者歯科相談医を増やす(現状30名程) ・心身障害者を治療するための口腔保健センター設立に向けての勉強会開催 ・障害支援区分認定審査会に歯科医師参加 ・埼玉県歯科医師会で開催される障害者歯科研修会への参加 ・埼玉県歯科医師会で開催される認知症対応力向上セミナーへの参加
自己評価	㊦ (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[川口市長寿支援課]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	第9期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画において、「認知症施策の推進」は、認知症施策推進大綱の中間評価や認知症基本法を踏まえ、以下の取り組みを定めている。 ＜主な取り組み＞ (1) 認知症に関する普及啓発 (2) 早期発見・早期対応の強化 (3) 本人及び家族支援の充実 (4) 認知症になっても安心できる地域づくり
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	(1) 認知症への理解を深めるための普及・啓発として「認知症サポーター養成講座」を開催。また、住民、小中学校、民間企業・団体へ開催を勧奨し、講師派遣、DVDの貸出し等を行っている。 68回、受講者数2,393人。 地域包括支援センターが本人会を開催し、本人の意思発信や不安軽減を図った。 (2) 認知症初期集中支援チーム(2チーム体制)にて地域包括支援センターと連携し、早期対応の強化を図った。 認知症ケアパス「認知症あんしんガイド」を、認知症の本人、家族の聞き取り、関係機関からの意見聴取を行った上で、活用しやすい指標として改訂した。また、認知症地域支援推進員が中心となって地域包括支援センターが、認知症ケアパスを地域のかかりつけ医、ケアマネジャー、職域等に配布し早期発見、早期対応の理解や関係機関間の連携支援を行った。 (3) 地域包括支援センターにおいて、認知症カフェ、家族介護者教室の開催、家族の会の開催や支援を行い、介護者の負担軽減を図っている。また、認知症高齢者相談所では対応や医療・介護等個別相談支援を実施している。 (4) 認知症サポーターに対し、市主催のステップアップ講座(専門医の講義、本人家族の体験談、ロールプレイ等)及び地域包括支援センター主催のステップアップ講座を開催。16回、307人。 市主催の講座では、活躍の紹介や活動を希望する者を地域包括支援センターへのつなぎを行った。地域活動を行う認知症サポーター524人。 認知症サポーターには、「かわぐち元気ナビ」情報配信サイトの登録を周知。登録者へ定期的に講座開催の案内、地域活動の紹介、ボランティア募集などの情報提供を行い、参加を呼びかけるなど、実際の地域活動につなげる取り組みを推進している。
自己評価	Ⓐ (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[川口市保健所疾病対策課]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	(1) 精神保健福祉相談 電話・来所・訪問相談対応、受診援助の実施 (2) 精神保健福祉専門相談の実施 精神科医師や臨床心理士による相談の実施 (3) 家族支援事業の実施 精神障害者等の家族に対する教室やひきこもりの方の家族のつどいの実施 (4) 人材育成・普及啓発事業の実施 関係機関を対象に研修会や事例検討会の実施。また、市民を対象にこころの健康講座やこころサポーター養成講座の実施、世界メンタルヘルスデーの普及啓発の実施 (5) 自殺予防対策事業の実施 自殺予防に関する普及啓発やゲートキーパー研修を実施 (6) 精神障害者訪問支援強化事業（アウトリーチ事業）の実施 未受診や医療中断者等の精神障害者、精神障害の疑いのある方に対して多職種による支援を実施 (7) 若年者早期相談・支援事業の実施 若年層における様々な悩みや困りごとについて、早期の相談支援を実施
関連する指標	(現状を示す指標) ゲートキーパー研修受講者数 8,657人 (令和6年までの累計受講者数) (目標とする指標) ゲートキーパー研修受講者数 8,000人 (令和10年までの累計受講者数)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	○精神保健福祉相談・訪問支援体制の強化 精神保健福祉相談 電話4,898件 来所268件 訪問901件 精神保健福祉に関する専門相談の実施 年間19回 延べ27件 精神障害者訪問支援強化事業の実施 利用者数51人 若年者早期相談・支援事業の実施 利用者数302人 こころの健康に関する講座の実施（オンデマンド配信）年間2回実施 ① ゲートキーパー研修 視聴回数 基礎編：3,390回 応用編：2,436回 (R7.3.31時点) ② 気分障害について 視聴回数 910回 (R7.3.31時点) 家族教室の実施 ・統合失調症 3日間コース 延べ50人 ・アルコール依存症 3日間コース 延べ33人 自殺予防対策事業の実施 ゲートキーパー研修 年間6回 延べ3,098人 リーフレット等の配布、メンタルヘルスチェックシステムの運用等の普及啓発、自殺未遂者支援、自殺対策庁内連絡会議実務者部会 ○地域生活支援体制の整備 こころサポーター養成講座 年間2回 80人 関係機関向け研修 年間1回 延べ10人

	○ひきこもり対策の推進 ひきこもり家族のつどい（研修会含む） 年間12回 延べ131人
自己評価	☒ A （ほぼ目標が達成できた） ☐ B （半分程度目標が達成できた） ☐ C （ほとんど達成できなかった）

[蕨市保健センター]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
年度ごとの 取組実績 （令和6年度）	・一般市民向けに広く開催する講座や個々のケースに応じた相談支援により対応 ・ゲートキーパー養成講座を実施 【令和6年度こころの健康講座（アルコール関連問題講演会）】 1回開催、53名参加 【令和6年度こころの健康相談】 8回開催、11名参加 【令和6年度ゲートキーパー養成講座（自殺対策事業）】 2回開催、41名参加 その他個々のケースに応じた相談支援により対応 ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム協議会 1回開催 ・地域生活支援拠点等事業ガイドライン策定
自己評価	☒ A （ほぼ目標が達成できた） ☐ B （半分程度目標が達成できた） ☐ C （ほとんど達成できなかった）

[戸田市福祉保健センター・障害福祉課]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和 6～11 年度	【福祉保健センター】 ・こころの健康相談事業 ・こころの健康教育 ・こころの健康講演会 ・市におけるひきこもりプラットフォームによる体制構築 【障害福祉課】 ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの協議 ・地域生活支援拠点の検討 【健康長寿課】 第9期戸田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画において、「認知症施策の推進」として、以下の取組を定めている。 【認知症への理解を深めるための正しい知識の普及・啓発の推進】 ・みんなが知っておきたい認知症あんしん情報ガイド（認知症ケアパス）の発行 ・認知症サポーター養成講座の実施 ・認知症月間に合わせた官民連携による認知症啓発展示等の実施 ・認知症講座・講演会の開催 【認知症になっても地域で自分らしく暮らせる体制の整備】 ・認知症本人の声の収集及び活用 ・認知症本人やその家族が集える認知症カフェ（トコカフェ）に対する活動支援 ・認知症サポーターステップアップ研修の開催 ・民間事業者等との連携体制の構築 ・本人起点の活動支援 ・認知症初期集中支援チームの有効的な活用及び運営方法の検討 ・認知症ケア相談室の周知、啓発 ・成年後見制度中核機関の設置 ・見守り体制の整備
関連する指標	（現状を示す指標） 【福祉保健センター】 こころの健康相談事業の実施 【健康長寿課】 ・認知症サポーター養成講座の受講者数：443人 ・認知症サポーターステップアップ研修の開催回数：1回 ・認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催回数：1回 （目標とする指標） 【福祉保健センター】 こころの健康相談事業を毎年実施する 【健康長寿課】 ・認知症サポーター養成講座の受講者数：450人 ・認知症サポーターステップアップ研修の開催回数：1回 ・認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催回数：1回

年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	【福祉保健センター】 ・こころの健康相談を実施した。 (相談人数：延べ589人) ・個別支援において、随時関連機関（医療機関・障害者相談支援事業所・生活自立相談センター・南部保健所・地域包括支援センター・市役所各課等）と検討し、対応した。 ・依頼健康教育として、ゲーム依存についての講座を実施した。 (市内中学校：計237人) ・こころの健康講演会（テーマ：ひきこもり）を実施した。 (会場27人、オンライン25人（戸田市民）) ・市におけるひきこもり支援体制整備の一環（プラットフォーム）として、ひきこもり支援対策意見交換会議（庁内）を実施した。また、支援者（市内相談支援事業所等を含む）対象のひきこもり勉強会（南部保健所共催）を実施した。 ・こころの体温計の周知を実施した。 (アクセス数：13,568回（市民）) ・ゲートキーパー研修（計3回）を実施した。 (教職員向け：44人、市職員向け（初級・中級）：延べ76人) ・自殺予防週間及び自殺対策強化月間における普及啓発を実施した。 ・上記に合わせて駅頭啓発活動を実施した。（2回） 【障害福祉課】 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」や「地域生活支援拠点」については、戸田市障害者地域自立支援協議会で検討し、検討結果をもとに戸田市障害者施策推進協議会で協議した。 戸田市障害者地域自立支援協議会：6回開催 戸田市障害者施策推進協議会：2回開催 「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」については、アセスメントシートで課題を整理し、課題改善に取り組んだ。 「地域生活支援拠点」については、事業者登録を促進し、ガイドラインに沿った事業を実施した。 【健康長寿課】 ・認知症初期集中支援チームの運営（委託事業） ・認知症初期集中支援チーム検討委員会の開催（令和7年2月27日開催） ・認知症カフェ（トコカフェ）支援及び認知症ケア相談室周知・啓発 ・みんなが知っておきたい認知症あんしん情報ガイド（認知症ケアパス）の製作、配布 ・映画「オレンジ・ランブ」上映会の開催 令和6年5月15日（水）@戸田市文化会館ホール 155人鑑賞 ・認知症施策及び認知症の日及び認知症月間の周知・啓発 58カ所で啓発展示実施（公共施設、医療機関、金融機関、商業施設等） ・認知症サポーター向け「おれんじつうしん」の発行 ・公民連携による各種認知症施策の推進
-----------------------------------	--

	・市民公開講座「脳の健康を考えてみませんか？～認知症について～」 令和7年3月20日（木・祝）@戸田市役所本庁舎5階大会議室ABC （オンライン配信とのハイブリッド形式） ・認知症本人ミーティングの開催 令和7年2月18日（火）@タリーズコーヒー 戸田店 ・認知症本人の社会活動に資する取組支援の実施 バードウォッチング @彩湖 らっきょう漬け作り・味噌づくり @デイサービス事業所
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[埼玉県南部保健所]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	精神保健福祉相談・訪問支援体制の強化 ・措置入院者フォロー検討会の開催（1回／月） ・川口市保健所措置フォロー検討会への参加（1回／月） ・措置入院者の面接（随時） ・支援者スキルアップ研修会の開催（1回／年） 地域生活支援体制の整備 ・精神障害者支援地域協議会代表者会議の開催（1回／年） ・地域包括ケアシステムに関する協議の場の開催（1回／年） ・地域包括ケアシステムに関する研修会（1回／年） ひきこもり対策の推進 ・ひきこもり専門相談（6回／年） ・ひきこもり講演会（1回／年） ・管内市関係機関のひきこもりに関する事例検討等（1回／年） 認知症対策の推進 ・認知症疾患医療連携協議会への参加（2回／年） ・管内市関係機関の認知症ケース同伴面接・同伴訪問（随時） 自殺予防対策の推進 ・ゲートキーパー養成に係る研修会の開催（1回／年） ・依存症・青少年の精神保健に関する研修会の開催（1回／年）
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）

年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	(精神保健福祉相談・訪問支援体制の強化) ・措置入院者フォロー検討会の開催 20回(川口市保健所分含む) ・措置入院者の面接 47件 ・支援者スキルアップ研修会の開催 「生きづらさを抱える子たち～トーマ横キッズ支援から見てきたもの～」 令和6年8月6日 参加者43名 (地域生活支援体制の整備) ・精神障害者支援地域協議会代表者会議の開催 令和7年1月27日 参加者27名 ・精神障害者地域支援体制構築事業実務担当国会議の開催 令和6年9月11日 参加者16名 ・精神障害者地域支援体制構築会議の開催 令和7年1月27日 参加者24名 ・地域包括ケアシステムに関する研修会の開催 相談の受け方～医療と保健・福祉の連携強化のために～ 令和6年11月14日 参加者27名 (ひきこもり対策の推進) ・ひきこもり専門相談 8回 8件 ・ひきこもり講演会 令和7年2月12日 参加者24名 ・蕨市ひきこもり勉強会 令和6年10月9日 参加者14名 ・戸田市ひきこもり勉強会 令和6年11月1日 参加者17名 (自殺予防対策の推進) ・メンタルヘルス研修会の開催 「アルコール依存からの回復～当事者たちの経験から学ぶ～」 令和7年3月12日 参加者26名
自己評価	☒ A (ほぼ目標が達成できた) ☐ B (半分程度目標が達成できた) ☐ C (ほとんど達成できなかった)

4 感染症対策

目 標

感染症に罹患しても迅速・適切な検査・治療を受けることができ、感染拡大を最小限に抑える体制を目指します。また、新興感染症（新型インフルエンザ等感染症、指定感染症又は新感染症）の発生に対して、関係機関と連携して、平時から感染症の発生及びまん延を防止していくための医療提供体制、検査体制等の整備を図ります。

主 な 取 組

- ・ 情報提供及び相談体制の確保
- ・ 診療・検査、医療・療養体制の充実
- ・ 感染症対策に関する研修や訓練の実施
- ・ 感染予防対策の普及啓発
- ・ 感染症対策の体制整備

実 施 主 体

医師会、歯科医師会、薬剤師会、市、保健所

[川口市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	・ 学術講演会を実施する 川口市医師会主催の感染症関連の学術講演会を開催し専門知識を深める ・ 感染症サーベイランス 小児科の感染症サーベイランスを実施し、その内容を川口市医師会ホームページに掲載する ・ 埼玉県感染症発生動向調査事業 内科、小児科、泌尿器科、産婦人科の指定届出機関が事業に参画 ・ 新興感染症対策については公衆衛生部主導のもと、埼玉県、埼玉県医師会、川口市、川口市保健所と緊密に連携し対応（川口市及び川口市保健所と対策会議を実施。その他臨時会議、ZOOM会議を実施）
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
年度ごとの取組実績（令和6年度）	・ 学術講演会を開催した 川口市医師会主催の感染症関連の学術講演会を開催し専門知識を深めた ・ 感染症サーベイランス 小児科の感染症サーベイランスを実施し、その内容を川口市医師会ホームページに掲載した ・ 埼玉県感染症発生動向調査事業 内科、小児科、泌尿器科、産婦人科の指定届出機関が事業に参画した。 ・ 新興感染症対策について、公衆衛生部主導のもと、埼玉県、埼玉県医師会、川口市、川口市保健所と緊密に連携し対応した
自己評価	Ⓐ （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

〔蕨戸田市医師会〕

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・感染症対策に関する研修会の実施 ・感染症発生の際、関係機関との連携体制の強化
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
年度ごとの 取組実績 （令和6年度）	・新型インフルエンザ等の流行の際に、南部保健所、蕨市保健センター、戸田市福祉保健センターとの連携を強化する。 ・南部保健所で開催の感染症対策会議への参加 ・内科、小児科、眼科、産婦人科の指定届け出機関を推薦する
自己評価	㊦ （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

〔川口歯科医師会〕

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・感染症の予防の推進 ・感染症の発生への備え及びまん延防止 ・感染症に係わる医療を提供する体制の確保
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
年度ごとの 取組実績 （令和6年度）	・川口市保健所との連携強化 ・スタンダードプリコーションの徹底 ・各医院で行った健康診断に基づき、保健所へ結核感染状況の報告を推進 ・寛解期のHIV感染者の歯科医療を受け入れる医療機関の確認
自己評価	㊦ （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[蕨戸田歯科医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・医療従事者に対しての健康診断実施時の血液検査等。 ・感染症対策の専門の講師を招いての講習会参加及び実習。 ・針刺し、切創事故発生後の対応確認と事故報告書の作成。 ・感染症対策マニュアル作成。 ・感染汚染物質の専門処理業者への廃棄の委託の周知。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・コロナウイルス感染症・インフルエンザ感染症に対する予防対策の徹底。 ・医療従事者の予防接種実施の推進。 ・医療従事者の健康診断実施の推進。 ・感染症対策講習会参加の推進。 ・感染症対策マニュアル作成。 ・感染汚染物質の専門処理業者への廃棄の委託の周知。
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[川口薬剤師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・感染症予防の啓発 ・感染症に関する学術講演会の企画及び参加 ・医療用抗原検査キットの供給
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・感染症予防の啓発 ・医療用抗原検査キットの販売 ・感染症に関する学術講演会の企画及び参加 令和6年9月11日「新たな新型コロナワクチンの登場」 11月27日「今年度新型コロナワクチン定期接種の方針とワクチン 接種の重要性」 令和7年3月21日「災害時の感染症対策」
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[蕨市地域薬剤師会]

具体的な取組と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	基本中の基本、手洗い・うがい・マスクを徹底し、早期受診をすすめる。また、検査キットの十分な確保
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	供給不足になっている検査キット・抗ウイルス薬の確保 薬薬連携し相互に分けあう
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[戸田市薬剤師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	- 学術講演会の実施 - 感染症対策グッズの安定供給 - HP等による検査・相談体制、研修会等の広報 - 薬薬連携研修会 年1～2回 - 戸田中央総合病院薬剤部との薬薬連携会議のさらなる充実 がん領域・感染症対応のための会議・研修会開催 - 医薬品の安定供給 - 戸田市学務課との連携により、戸田市内小中学校における感染症発生状況把握体制の構築
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[川口市保健所疾病対策課]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	(1) 感染症 ・感染症発生動向調査 ・HIV、性感染症検査 ・新興感染症に備えた実践型訓練の実施 ・南部医療圏感染対策地域連携の会への積極的な参加 (2) 結核 ・DOTS事業 ・接触者健診、管理健診の実施 ・結核予防費助成事業 ・外国人支援 (3) 肝炎 ・肝炎治療費助成事業（県への進達業務） ・肝がん、重度肝硬変治療研究促進事業 (4) 普及啓発
関連する指標	(現状を示す指標) 結核罹患率 10.9% (市R5) DOTS実施率100% (目標とする指標) 結核罹患率 8.1% (国R5) DOTS実施率95%以上
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	(1) 感染症 ・感染症発生動向調査（通年） ・HIV、性感染症検査 通常検査：毎月1回実施（HIV、梅毒、B型肝炎、C型肝炎） 即日検査：6・12月休日に1回実施（HIV・梅毒） ・新興感染症に備えた訓練の実施 防護服着脱訓練（毎月） 医療機関と合同の実践型訓練（10月） ・南部医療圏感染対策地域連携の会への積極的な参加 (2) 結核 ・DOTS事業、薬局DOTS推進（通年） ・接触者健診、管理健診の実施（通年） ・外国人支援（胸部レントゲン検査・普及啓発の実施、日本語学校での結核に関する講義、医療通訳派遣事業） (3) 肝炎対策事業 ・肝炎治療費助成事業（通年） ・肝がん、重度肝硬変治療研究促進事業（通年） ・肝炎重症化予防事業（通年） (4) 普及啓発 ・HIV検査普及週間（6月）、世界エイズデー（12月） ・結核予防週間（9月）
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[蕨市保健センター]

具体的な取組と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・感染症対策に関する研修会、担当者会議への参加
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた) ☒ B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[戸田市福祉保健センター]

具体的な取組と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	令和6年度～令和11年度までの取組計画 ① 感染症対策に関する周知 ② 感染症対策の体制整備
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	①感染症対策に関する周知 ・市のホームページ・広報・SNS等での情報発信 主に市のホームページにおいて最新情報を発信し、また季節の変わり目には広報でも周知した。 ・小中学校、保育園等の関係部署への周知 就学時健診の際に予防接種に関するお知らせを同封するなど、適宜連携をして、感染症対策のための周知を行った。 ②感染症対策の体制整備 ・各種感染症、定期予防接種対象者への周知 高齢者インフルエンザ予防接種について周知し、12,226件の接種実績をあげた。新型コロナウイルス感染症予防接種の定期接種化について周知し、7,114件の接種実績をあげた。 ・感染症対策物品の備蓄状況の整備 マスクや消毒液等、感染症対策用の備蓄内容について見直しを行い、新型インフルエンザ等への対策体制を整備した。
自己評価	☒ A (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[埼玉県南部保健所]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	感染症に関する検査・相談体制の充実 ・ 性感染症検査の実施（HIV、梅毒、クラミジア、B型肝炎、C型肝炎）1回／月 ・ HIV即日検査の実施 1回／月 ・ 感染症に関する相談 随時 感染症対策に関する研修や訓練の実施 ・ 健康危機対処計画による訓練 2回／年（所内1回、管内医療機関1回） ・ 感染症研修会 1回／年 感染症対策の体制整備 ・ 管内感染症担当者会議 年1回 ・ 管内市担当者緊急連絡網の更新 1回／年
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
年度ごとの取組実績（令和6年度）	・ 性感染症検査の実施（HIV、梅毒、クラミジア、B型肝炎、C型肝炎）1回／月 ・ HIV即日検査の実施 1回／月 ・ 感染症に関する相談 随時 感染症対策に関する研修や訓練の実施 ・ 健康危機対処計画による訓練 所内2回（参加24名）、管内医療機関11/7（参加19施設・42名） ・ 感染症研修会 3/3（参加27名） 感染症対策の体制整備 ・ 管内感染症担当者会議 1/29（参加14機関・23名） ・ 管内市担当者緊急連絡網の更新 1回／年
自己評価	Ⓐ （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

5 災害時医療

目 標

災害時における医療体制の構築を推進することにより、大規模災害の発生時に限られた医療資源を最大限活用し、発災後の時間経過に応じた必要な医療を提供できることを目指します。

また、そのために、平常時から災害を念頭に置いた関係機関や団体との連携体制を構築します。

主 な 取 組

- ・地域災害保健医療調整会議等の開催
- ・災害時対応マニュアル等の策定
- ・災害時医療に関する研修や訓練の実施
- ・災害時医療連携体制の強化
- ・災害時における保健衛生活動体制の整備
- ・事業継続計画（BCP）の策定
- ・災害時小児周産期医療体制の整備

実 施 主 体

医師会、歯科医師会、薬剤師会、市、保健所

[川口市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	・災害医療郡市担当理事会への出席 ・JMAT研修へ参加 ・川口市主催の防災訓練への参加 ・災害時対応マニュアル策定に関する取組 ・健康危機管理体制の充実、強化 ・各種勉強会の開催、参加 ・川口市及び川口市保健所と対策会議を実施 その他臨時会議、ZOOM会議を実施した ・災害時安否確認システムの導入
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
年度ごとの取組実績（令和6年度）	・災害医療郡市担当理事会に参加した ・JMAT研修に参加した ・川口市主催の防災訓練に参加した ・災害時対応マニュアル策定に関する取組 ・健康危機管理体制の充実、強化 ・各種勉強会の開催、参加 ・川口市及び川口市保健所と対策会議を実施 その他臨時会議、ZOOM会議を実施した ・災害時安否確認システムを導入し、訓練を実施した
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[蕨戸田市医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・戸田市平日夜間・休日急患診療所に非常用発電機を設置し、大規模災害時の拠点とする。 ・災害時の初期救急医療班を構築し訓練を実施し、実際に活動できるようにする。 ・蕨市、戸田市、保健所、消防等の関係機関と災害時の救急医療体制を協議する。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・災害時の通信手段としてMCA無線（トランシーバー）を医師会と蕨市、戸田市、蕨市・戸田市消防本部及び蕨、戸田市内の救急病院に配備し、災害時に備える。 ・蕨市、戸田市、南部保健所、消防等の関係機関と災害時の救急医療体制を協議し、研修会等に参加する。 ・蕨市総合防災演習の応急救護訓練に医師と看護師が参加する。
自己評価	Ⓐ (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[川口歯科医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・保健医療活動の総合調整を適切かつ円滑に実施できる体制の整備 ・災害時においても継続して医療を提供できる災害に強い体制の整備
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・防災連絡網の更新 ・三師会と保健所などが同居する地域包括ケアの拠点設置を要望する ・川口市総合防災訓練への参加、医療救護及び個人識別訓練の実施 ・埼玉県防災連絡協議会への参加
自己評価	Ⓐ (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[蕨戸田歯科医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	・災害時歯科活動マニュアルを作成し全会員に配布及び内容の告知。 ・災害時安否確認システムを構築し、各医療機関の被害状況の把握及び診療可能かどうかの確認。 ・安否確認システムを利用した訓練の実施。 ・年1回の県警、歯科医師会、医師会、消防、行政等参加の防災訓練 歯科医療救護活動訓練の実施。 ・歯科医療救護活動のための必要備品の備蓄。 ・災害時歯科医療のための講習会及び実習の実施。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績 (令和6年度)	・関係機関、団体(保健所、市町、医師会、薬剤師会、医療機関等)と「顔の見える関係」を形成し情報収集、共有体制を整備する。 ・埼玉災害時安否確認システムの参加会員を増やす。 ・災害時歯科医療備蓄品の確認と整備。
自己評価	Ⓐ (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[川口薬剤師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	・災害対応訓練の実施 ・災害時医療に関する学術講演会の企画及び参加 ・災害時の会員安否確認システム運用の充実
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績 (令和6年度)	・災害対応訓練の実施 令和6年9月28日 川口市立医療センター・川口薬剤師会合同災害訓練 ・災害時医療に関する学術講演会の企画及び参加 令和6年11月18日「酷暑期の災害一避難所は安全か」 11月19日「令和6年能登半島地震における教訓」 ・災害時の会員安否確認システム運用の充実 ・会員全員へ段ボール製携帯トイレの配布
自己評価	Ⓐ (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[蕨市地域薬剤師会]

具体的な取組と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	薬剤師会として災害担当チームを立ち上げ、スムーズに対応したい。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	医薬品の供給不足が続いているが、徹底して卸とメーカーと直接交渉し、品切れがないようにする。
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) ☒ C (ほとんど達成できなかった)

[戸田市薬剤師会]

具体的な取組と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・ 災害拠点薬局の整備 ・ 被災時運用のマニュアル化 ・ 被災時備蓄品の保管 ・ 災害時備蓄品の選定と備蓄 ・ 薬剤師災害リーダー研修受講 ・ 災害時対応関連研修の実施 ・ 災害時の体制、その取り組みについてHP等による広報 ・ 災害拠点薬局の対応マニュアルの内容の見直し ・ 拠点薬局での具体的な災害時のシミュレーション ・ 外来対応に関わる薬局リストのホームページ掲載
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた) ☒ B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[川口市保健総務課・保健所管理課]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	・市総合防災訓練「災害対策本部訓練」への参加 ・埼玉県南部地域保健医療圏・地域災害保健医療調整会議（平時版）への参加 ・市防災計画の改訂（令和6年度） ・市防災計画の改訂に伴う市業務継続計画（BCP）の改訂（令和7年度） ・南部保健医療圏災害時小児周産期医療体制情報伝達訓練への参加 ・市保健医療調整本部の開催準備
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
年度ごとの取組実績（令和6年度）	・市総合防災訓練「災害対策本部訓練」への参加 ・埼玉県南部地域保健医療圏・地域災害保健医療調整会議（平時版）への参加 ・市防災計画の改訂（マニュアル等の作成） ・南部保健医療圏災害時小児周産期医療体制情報伝達訓練への参加
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた） ☒ B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[蕨市保健センター]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
年度ごとの取組実績（令和6年度）	・市主催の防災訓練への参加 ・市主催の避難所運営協議会への参加
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた） ☐ B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[戸田市市民医療センター]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・関係機関と協議を行い、現行の災害時対応マニュアル等の見直しを行う。 ・保健所等が実施する災害時医療に関する研修や訓練に積極的に参加するとともに、関係機関による訓練を実施する。 ・災害時医療体制の整備のため、関係機関による会議を必要時開催する。 ・救護所機能を強化するために、医薬品や食糧、毛布等の備蓄及び可搬式発電機の配備を行う。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・危機管理防災課と協議し、現行の災害時対応マニュアル等の見直しの検討を行った。 ・災害時医療に関する会議や研修に参加し、関係機関との連携推進を図った。 ・救護所の訓練として、トリアージ及び陰圧テント設置の訓練を実施し、職員の対応能力の向上を図った。 ・災害時医療体制の整備のため、蕨戸田医師会、危機管理防災課と災害時の医療救護活動に関する打ち合わせを行った。 ・救護所機能を強化するために、使用期限を迎えた災害時備蓄品（粉ミルク）の入替を実施した。
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[埼玉県南部保健所]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・地域災害保健医療調整会議の設置及び開催 令和元年度～ 継続 ・南部保健所所内体制整備（健康危機管理マニュアルの更新、備蓄物品・防災無線等の整備、職員訓練の実施） 平成30年度～ 継続 ・健康危機管理研修（感染症対策を含む）の実施 平成30年度～ 継続 ・EMIS（広域災害救急医療情報システム）入力訓練の実施 平成30年度～ 継続 ・管内市をはじめとする関係機関主催の会議、研修等への参加及び協力 平成30年度～ 継続 ・医療機関向けBCP（業務継続計画）策定支援研修 平成30年度～ 継続 ・医療機関向け医療安全研修（防火、防災等を含む）
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
年度ごとの 取組実績 （令和6年度）	・南部保健医療圏地域災害保健医療調整会議の開催 令和7年3月10日 ・管内市をはじめとする関係機関主催の会議、研修等への参加及び協力 内閣府主催大規模地震時医療活動訓練参加（令和6年9月28日） 戸田中央病院主催大規模災害訓練参加（令和6年11月2日） 県医療整備課主催通信・報告訓練参加（令和6年11月6日） ・南部保健所所内体制整備（健康危機管理マニュアルの更新、備蓄物品・防災無線等の整備、職員訓練の実施） 保健所職員によるアクションカード使用、携帯発電機、衛星携帯電話、防災行政無線動作訓練（令和6年8月5日、8月9日、令和7年1月31日机上訓練） 保健所職員のEMIS訓練（令和6年8月5日、8月9日、EMISシステム変更に伴い令和7年1月以降の訓練は調整中） ・南部保健医療圏災害時小児周産期医療対応訓練の実施 令和6年11月5日（火）18時30分～20時00分 川口市立医療センター 会議室 ・圏内医療機関のEMIS（広域災害救急医療情報システム）入力訓練の実施 令和6年5月22日 ・小児周産期医療施設のEMIS・PEACE入力に関する確認・調整 （随時）
自己評価	☒ A （ほぼ目標が達成できた） ☐ B （半分程度目標が達成できた） ☐ C （ほとんど達成できなかった）

6 在宅医療の推進

目 標

在宅での療養を希望する患者が、住み慣れた地域で必要な医療を受けるため、
(1)在宅療養に向けた入退院支援 (2)日常の療養生活の支援 (3)急変時の対応(4)
患者が望む場所での看取りを目指し、地域における医療や介護の多職種連携を
図りながら、24時間体制で在宅医療が提供される体制を構築します。

主 な 取 組

- ・地域における入退院支援の充実
- ・多職種連携による患者・家族支援の推進
- ・医療・介護関係者の研修会の開催
- ・在宅医療・介護に関する相談の充実
- ・地域住民への普及啓発
- ・在宅医療に関する各種情報の公表・提供

実 施 主 体

医師会、歯科医師会、薬剤師会、市、保健所

[川口市医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・在宅医療部会の開催 ・川口市在宅医療サポートセンターを運営し、一般市民やケアマネージャーからの相談に迅速に対応する ・第3回川口市医師会地域包括ケア学会を開催 ・令和6年度人生の最終段階における医療ケアに関する勉強会を開催 ・川口市医師会地域緩和ケア勉強会を開催
関連する指標	(現状を示す指標) (目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・在宅医療部会の開催 ・川口市在宅医療サポートセンターを運営し、一般市民やケアマネージャーからの相談に迅速に対応した。 ・第3回川口市医師会地域包括ケア学会を開催 令和6年11月9日 ・令和6年度人生の最終段階における医療ケアに関する勉強会を開催 令和6年 9月11日 令和6年10月 8日 令和6年10月16日 令和6年10月18日 令和6年11月13日 令和6年11月15日 ・川口市医師会地域緩和ケア勉強会を開催 令和6年3月5日 令和6年3月19日 ※新型コロナウイルス感染症拡大により、取組実績に影響等がございましたら、併せて御記入ください。
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[蕨戸田市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	・当医師会の訪問看護ステーションと周辺の訪問看護ステーションの連携の推進 ・県南在宅研究会に参加し、在宅医療活動を行っていく ・蕨、戸田市地区介護保険施設と医療機関との連携の推進 ・多職種連携の研修会、交流会の実施 ・在宅医療の提携と連携に関する実態調査への協力 ・県医師会在宅医療研修会への参加 ・ACPの普及・啓発 ・緩和ケアの充実
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績(令和6年度)	・在宅医療拠点窓口 医療・介護の相談 各市の協議会・研修会等に参加し啓発活動を行う 往診医の登録・リスト化 在宅医療支援ベッドの確保…5箇所の協力病院が輪番で対応 ・ICTによる医療、介護連携の推進 ・多職種連携の推進 「連携ネットCafé」zoomにて開催 ・埼玉県南部地域保健医療・地域医療構想協議会 在宅医療部会への参加 ・南部保険医療圏 難病対策地域協議会への参加
自己評価	Ⓐ (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[川口歯科医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	・入退院支援 ・日常の療養生活の支援 ・急変時の対応
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績(令和6年度)	・市内の病院で退院時アセスメントを行い、通院できない患者さんの退院後のフォローアップを図る ・在宅歯科医療推進拠点窓口(川口訪問歯科センター)の充実 ・訪問看護ステーションとの連携 ・川口市地域包括ケア会議への参加 ・自立支援型地域ケア会議への参加 ・地域包括支援センターとの連携強化 ・MCS(メディカルケアステーション)の活用

自己評価	Ⓐ （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）
------	---

[蕨戸田歯科医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	・埼玉県歯科医師会開設の「在宅歯科医療連携推進窓口」連携による供給の拡大を図る。それに対しポスターおよびパンフレットを用いて啓発を行う。 ・地域連携の方法の一つとして、MCSを有効利用していく。 ・在宅歯科診療を行う歯科医院増加のための一助として、訪問歯科診療に必要な設備の充実を図る。 ・必要不可欠な、そしてより安全な在宅歯科診療を行うために、該当研修会への参加による歯科医師のスキルアップを図る。 ・歯科医師会として、在宅療養支援診療所に協力できる体制の構築を行っていくことに関する情報の収集を行い、該当チームづくりを行う ・地域包括ケア会議に積極的に参加し、蕨市・戸田市における包括ケアの必要性を多職種で考えていくよう努力する。
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
年度ごとの取組実績 （令和6年度）	・埼玉県歯科医師会開設の「在宅歯科医療連携推進窓口」連携による供給の拡大を図った。それに対しポスターおよびパンフレットを用いて啓発を行なった。 ・地域連携の方法の一つとして、MCSの利用が増加した。 ・在宅歯科診療を行う歯科医院増加のための一助として、訪問歯科診療に必要な設備の購入を行った。 ・より良質な在宅歯科診療を行うために、研修会の開催、学会参加による歯科医師のスキルアップを図った。 ・病院における拠点DHのアセスメント拡大のための啓発を行った。
自己評価	Ⓐ （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[川口薬剤師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	・地域包括ケアシステム構築への協力 ・在宅医療に関する薬局情報の公開 ・在宅医療に関する学術講演会の企画及び参加
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）

年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	- 在宅医療に関する学術講演会の企画及び参加 令和7年1月28日「地域包括ケアシステムの構築について」 - 在宅医療支援会員薬局リスト（令和6年度版）の作成及び関係機関へ配布すると共に本会HPへUP - 地域包括ケア会議への講師派遣
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[蕨市地域薬剤師会]

具体的な取組と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	薬局内で調剤のみを仕事にせず、積極的に医師・看護師等とチームを作って在宅に参加する。
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	会も細々と在宅を行っているが、少しずつでいいから在宅への仕事を増やしたい。
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[戸田市薬剤師会]

具体的な取組と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	- 在宅担当者情報交換会の開催(年1～2回) - 学術研修会の企画・開催 - 多職種との合同研修会の企画・開催 - 地域包括ケア会議への参加 - フレイル予防のためのクイズスタンプラリーの開催 - 連携ネットCaféへの参加、講師派遣 - 在宅対応に関わる薬局リストのホームページ掲載
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[川口市長寿支援課]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	第9期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画において、「在宅医療・介護連携の推進」として、医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に利用できるようにするため、第8期計画より継続し以下の取り組みを実施し、関係者の連携と支援体制整備を進めるよう定めている。 (1) 医療・介護の専門職のコーディネーターによる相談支援 (2) 在宅医療サポートセンターと地域包括支援センターの連携による機能強化 (3) 地域包括ケア連絡協議会の開催 (4) 在宅医療・介護関係者の研修の実施 (5) ICTによる医療・介護関係者間の情報連携の推進 (6) ACP（人生会議）の普及啓発 (7) エンディングノートの効果的な活用方法の周知
関連する指標	(現状を示す指標) 特になし
	(目標とする指標) 特になし
年度ごとの取組実績 (令和6年度)	(1) (2) (3) (4) 地域包括ケア連絡協議会幹事会において川口市在宅医療サポートセンターの相談内容、件数等を報告。課題等について検討。引き続き在宅医療サポートセンター主催にて多職種連携の研修会を開催（12月13日、2月25日予定） (3) 地域包括ケア連絡協議会幹事会の開催。入退院支援ルールの活用状況の把握、ルール運用の課題を抽出し、より円滑な運用に向けて見直しを検討。（6月5日、8月8日、10月9日、1月16日） (4) 南部保健所・蕨市・戸田市との共催により「在宅医療講演会」（10月31日 蕨市立文化ホールくるる）、「多職種連携の会」（1月28日 サイボーホール イオンモール川口前川）を開催。 (5) 地域包括ケア連絡協議会幹事会において、医療介護専用SNS「メディカルケアステーション」の運用方法を協議。 (6) (7) ACP出前講座において、ACPの普及・啓発を実施。埼玉県作成「意思表示ノート」と川口市作成「エンディングノート」の活用方法を周知。年間6回開催（9月11日、10月8日、10月16日、10月18日、11月13日、11月15日）。
自己評価	☒ A （ほぼ目標が達成できた） ☐ B （半分程度目標が達成できた） ☐ C （ほとんど達成できなかった）

[川口市疾保健所疾病対策課]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	・難病患者に対する個別支援（電話・面談・家庭訪問等）の実施(随時) ・医療講演会の開催 ・難病に関する情報紙の作成と配布 ・難病相談支援者研修の開催 ・南部保健医療圏難病患者等地域支援連絡会の開催※ ・南部保健医療圏難病対策地域協議会の開催※ ※南部保健医療圏（南部保健所・川口市保健所所管区域） ・患者・家族会の開催（南部保健所との共催）
関連する指標	（現状を示す指標）特になし （目標とする指標）特になし
年度ごとの取組実績（令和6年度）	・難病患者に対する個別支援（電話・面談・家庭訪問等）の実施 ・医療相談事業の実施 ①医療講演会の開催（令和6年12月9日） 内容：「多発性硬化症／視神経脊髄炎」ってどんな病気？ ～自分らしく生活していくためのヒント～ ②情報紙「難病相談係だより」の作成及び配布 内容：神経難病のリハビリテーションについて ・南部保健医療圏難病患者等地域支援連絡会の開催（令和6年12月10日） ・南部保健医療圏難病対策地域協議会の開催（令和7年2月7日） ・難病相談支援者研修の開催（令和7年3月19日） 内容：「難病患者のコミュニケーション支援」 ～自宅で生活し続けられるために～ ・患者・家族会の開催（南部保健所との共催）隔月(奇数月)
自己評価	A （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[蕨市健康長寿課]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	在宅医療・介護連携推進事業における（ア）～（ク）の8項目の事業に取り組みながら、医療・介護関係者間の顔の見える関係づくりを進める。 （ア）介護保険サービス事業所マップの作成 （イ）医療・介護連携ネットワーク会議の開催 （ウ）往診医や患者情報の登録 （エ）ICTシステム（メディカルケアステーション（MCS））の利用促進、入退院支援ルールの運用 （オ）蕨市在宅医療支援センターとの連携強化 （カ）医療・介護関係者の研修会の開催（保健所・川口市・戸田市共催） （キ）市民向け講演会の開催（保健所・川口市・戸田市共催）
関連する指標	（現状を示す指標） 令和6年度 ・医療・介護関係者向け研修会の開催回数：1回 ・市民向け講演会の開催回数：1回 ・ACP普及啓発講師人材バンク派遣事業の派遣回数：5回

	（目標とする指標） 各年度 ・医療・介護関係者向け研修会の開催回数：2回 ・市民向け講演会の開催回数：1回 ・ACP普及啓発講師人材バンク派遣事業の派遣回数：3回
年度ごとの 取組実績 （令和6年度）	・介護保険事業者マップ/在宅医療機関マップを更新し、市窓口での配布、ホームページで公開した。 ・戸田市と合同で、「医療・介護連携ネットワーク会議」を令和7年2月に開催。在宅医療・介護連携の進捗や蕨戸田市在宅医療支援センター等について報告、検討した。 ・南部保健所、川口市、戸田市、埼玉県南部地域保健医療協議会在宅医療部会との共催により、令和6年10月に市民向けの「在宅医療講演会」を実施した。 ・南部保健所、川口市、戸田市、埼玉県南部地域保健医療協議会在宅医療部会との共催により、令和7年1月に医療介護関係者向けの「多職種連携の会」を実施した。 ・蕨戸田市在宅医療支援センターを中心としてZoomを用いて医療・介護職を対象とした「連携ネットカフェ」を不定期開催した。 ・人材バンク事業を活用し、ACP普及・啓発講座を蕨市、戸田市で9回実施した。
自己評価	☒ A （ほぼ目標が達成できた） B （半分程度目標が達成できた） C （ほとんど達成できなかった）

[戸田市健康長寿課]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	在宅医療・介護連携推進事業における（ア）～（キ）の7項目の事業に取り組みながら、医療・介護関係者間の顔の見える関係づくりを進める。 （ア）介護保険サービス事業所マップの作成 （イ）医療・介護連携ネットワーク会議の開催 （ウ）往診医や患者情報の登録 （エ）ICTシステム（メディカルケアステーション（MCS））の利用促進、入退院支援ルールの実用 （オ）蕨戸田市在宅医療支援センターとの連携強化 （カ）医療・介護関係者の研修会の開催（保健所・川口市・蕨市共催） （キ）市民向け講演会の開催（保健所・川口市・蕨市共催）
関連する指標	（現状を示す指標） ・医療・介護連携ネットワーク会議の開催回数：1回 （令和7年2月27日実施） ・多職種連携の会の開催回数：1回 ・在宅医療講演会の開催回数：1回 ・ACP普及啓発講師人材バンク派遣事業の派遣回数：5回 （目標とする指標）※いずれも年度あたりの目標値 ・医療・介護連携ネットワーク会議の開催回数：2回 ・多職種連携の会の開催回数：1回

	・在宅医療講演会の開催回数：１回 ・ACP普及啓発講師人材バンク派遣事業の派遣回数：３回
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・引き続き、介護保険サービス事業所マップの作成及び厚生労働省医療情報ネットナビへのリンクを市ホームページに掲載することで、地域の医療機関・介護事業所など資源情報を共有及び活用できるようにしている。 ・蕨市と合同で、１回「医療・介護連携ネットワーク会議」を開催した。（令和7年2月27日） ・蕨戸田市在宅医療支援センターを中心に、医療・介護連携ネットカフェ等の多職種連携に係る研修会、交流会を開催した。 〈連携ネットカフェ〉 ・令和6年7月31日「『つながりが元気のみなもと』インフォーマル資源って何？」 ・令和7年2月13日「地域を知って、豊かな生活を」 ・南部保健所、川口市、蕨市との共催により、市民向けの「在宅医療講演会」を開催した。（令和6年10月31日 参加者87名） ・南部保健所、川口市、蕨市との共催により、多職種向けの「多職種連携の会」を開催した。（令和7年1月28日 参加者115名） ・戸田市、蕨市、蕨戸田市在宅医療支援センター、南部圏域担当地域リハビリテーション・ケアサポートセンター、蕨市社会福祉協議会、戸田市社会福祉協議会と共同による市民を対象としたACPの普及・啓発も兼ねた「まちづくりの会」を開催した。（令和6年11月28日） ・人材バンク事業を活用し地域包括支援センター等でACP普及啓発を実施した。
自己評価	A（ほぼ目標が達成できた） B（半分程度目標が達成できた） C（ほとんど達成できなかった）

[埼玉県南部保健所]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・多職種連携による患者・家族支援の推進 ・医療・介護関係者の研修会の開催 ・南部地域保健医療・地域医療構想協議会在宅医療部会の開催 ・多職種連携の会 関係職員及び専門職向け研修会 ・市民向け在宅医療講演会
関連する指標	（現状を示す指標）
	（目標とする指標）

年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・南部地域保健医療協議会在宅医療部会開催) 令和6年5月24日(金) 13:30~14:45 南部保健所2階大会議室 ・在宅医療市民向け講演会の開催 令和6年10月31日 14:00~16:00 蕨市立文化ホールくるる 3階ホール 「耳の聞こえ講演会」 ①高齢期の難聴の特徴、補聴器について パナソニック株式会社 薬事統括センター(兼) パナソニック補聴器株式会社サポートセンター 吉住 嘉之 氏 ②日常生活の工夫、コミュニケーション方法 医療法人社団東光会 戸田中央リハビリテーション病院 作業療法士 金子 真純 氏 言語聴覚士 岡部 脩平 氏 ・多職種連携の会(関係機関向け) 令和7年1月28日(火) 14:00~16:00 イオンモール川口前川2階「サイボーホール」 ①「地域包括ケアシステムの構築について～在宅医療の現状と課題について～」 講師:川口市保健所 所長 岡本 浩二氏 ②交流会及びグループワーク 「将来、自分が在宅医療・介護を受ける側になった時、在宅医療・介護の場はどうなっているだろう?どうなっていたらいいのだろう?」 ・管内各市在宅医療担当学会議の開催 令和6年4月23日、12月13日、令和7年3月19日
自己評価	☒ A (ほぼ目標が達成できた) ☐ B (半分程度目標が達成できた) ☐ C (ほとんど達成できなかった)

7 医薬品等の安全対策

目 標

県民の命と健康を守るため、品質の高い、安全な医薬品等の流通を目指します。
また、医薬品等の効能効果、用法用量及び副作用等の正しい情報を県民に提供し、適正使用を推進するとともに、ジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用を促進して、数量シェア80%を堅持します。

主 な 取 組

- ・薬局、医薬品販売業者等に対する監視指導の実施
- ・医薬品等の正しい知識の普及啓発
- ・かかりつけ薬剤師・薬局の活用等の推進
- ・ジェネリック医薬品の使用促進
- ・毒物劇物製造業者等に対する監視指導の実施
- ・学校における薬物乱用防止教育の充実
- ・地域社会全体の薬物根絶意識の醸成

実 施 主 体

医師会、薬剤師会、市、保健所

[川口市医師会]

具体的な取組とスケジュール ※計画期間は、令和6～11年度	・埼玉県南部保健所管内薬物乱用防止指導員協議会に参画する ・川口薬剤師会主催の市民公開講座に講師を派遣する ・川口市福祉部と協力しジェネリック医薬品の使用促進に努める
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの取組実績 (令和6年度)	・埼玉県南部保健所管内薬物乱用防止指導員協議会に参画した。 ・川口薬剤師会主催の市民公開講座に講師を派遣した。 ・川口市福祉部と協力しジェネリック医薬品の使用促進に努めた。
自己評価	○A (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[蕨戸田市医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・ジェネリック医薬品の使用促進の啓発活動 ・薬物乱用防止キャンペーンへの参加
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・向精神薬の処方に関しての注意喚起 ・薬物乱用防止キャンペーンへの参加
自己評価	(A) (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[川口歯科医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・安全な医薬品の提供 ・毒物劇物安全対策の充実
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・「薬剤関連顎骨壊死」を防ぐための三師会による「骨と歯の健康を考える会」を継続して連携強化を図る ・感染性医療廃棄物の適切な処理の徹底
自己評価	(A) (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[蕨戸田歯科医師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・ジェネリック医薬品の使用促進を図る。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)

年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・ジェネリック医薬品の使用促進について周知した。
自己評価	☒ A (ほぼ目標が達成できた) ☐ B (半分程度目標が達成できた) ☐ C (ほとんど達成できなかった)

[川口薬剤師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・医薬品等の正しい使用法の普及、啓発（地域及び学校） ・かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の推進 ・医薬品等の安全対策に関わる学術講演会の企画及び参加 ・埼玉県薬物乱用防止指導員の推薦及び防止活動の実施
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・埼玉県薬物乱用防止指導員活動への会員の派遣 ・会員学校薬剤師の医薬品等の正しい使用法啓発活動への支援 ・医薬品等の安全対策に関わる学術講演会の企画及び参加 令和6年6月9日「市販薬過量服用から子ども達を守るために」 10月1日「学校薬剤師と養護・保健体育教諭との連携をめざして」 令和7年3月9日「オーバードーズの背景と課題」
自己評価	☒ A (ほぼ目標が達成できた) ☐ B (半分程度目標が達成できた) ☐ C (ほとんど達成できなかった)

[蕨市地域薬剤師会]

具体的な取組と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	現状、オーバードーズが社会問題なので、店頭において使用方法、薬の副作用、正しい使い方を指導する。
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	学校などで薬物乱用防止教室を積極的に行い、薬の正しい使い方を教えていきたい。
自己評価	☐ A (ほぼ目標が達成できた) ☐ B (半分程度目標が達成できた) ☒ C (ほとんど達成できなかった)

[戸田市薬剤師会]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	- 講演会の実施 - 市民向け講習会などの啓蒙活動(お薬相談) - 薬の流通改善における保健所への継続申し入れ - スポーツファーマシストのアスリートの相談応需 - 戸田市地域活動薬剤師の会参加者拡充・在宅担当者情報交換会の開催(年1～2回) - 学術研修会の企画・開催 - 多職種との合同検視誘拐の企画・開催 - 心不全患者への対応に関する薬薬連携研修会の開催計画立案(病院、薬剤師会共催)
自己評価	A (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[川口市保健所管理課]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	- 市内の薬局や医薬品販売業等に対し、定期的に監視指導を実施します。 - 市広報誌や保健所ホームページ等を活用して、市民に対して医薬品に関する正しい情報を提供します。 - 県南部保健所及び南部保健所管内薬物乱用防止指導員協議会が実施する薬物乱用防止啓発活動に協力します。 - 県及び県薬剤師会主催の「薬物乱用防止啓発ポスターコンクール」を後援し、市内の児童生徒に対して参加を広く呼びかけます。 - 市内の毒物劇物販売店や業務上毒物劇物を取り扱う施設に対して、定期的に監視指導を実施し、毒物劇物による事件事故が生じないように注意喚起を行います。 - 毒物劇物の取扱いに係るリーフレット等を配布し、市民へ毒物劇物の適切な使用や管理を呼びかけます。
関連する指標	(現状を示す指標) 毒物劇物を原因とする健康被害件数、薬事関係施設監視件数
	(目標とする指標) 毒物劇物を原因とする健康被害件数、薬事関係施設監視件数

年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・薬事関係施設監視指導件数 493件 ・広報かわぐちへの記事掲載 2回(6、10月号) ・「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金への協力 ・薬物乱用防止啓発ポスターコンクール応募数(応募学校数) 小学生の部 14点(2校) 中学生の部 113点(7校) 高校生の部 3点(1校)
自己評価	Ⓐ (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[蕨市保健センター]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・ポスター掲示等による薬物乱用対策の推進
自己評価	Ⓐ (ほぼ目標が達成できた) B (半分程度目標が達成できた) C (ほとんど達成できなかった)

[戸田市保険年金課]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	【具体的な取組】 戸田市国民健康保険の加入者のレセプトデータから、ジェネリック医薬品に切り替えが可能な先発薬が処方されている者で、切り替えた場合の効果額が300円以上となる者を対象に、年2回ジェネリック医薬品利用差額通知を発送 【スケジュール】 令和6年度から令和11年度までの各年度において、年2回以上通知を発送
関連する指標	(現状を示す指標) ジェネリック医薬品数量シェア 令和6年度 平均87.8%
	(目標とする指標) ジェネリック医薬品数量シェア 80%以上

年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	令和6年度において、年2回通知を行った。 10月通知 98名 3月通知 74名
自己評価	☒ A (ほぼ目標が達成できた) ☐ B (半分程度目標が達成できた) ☐ C (ほとんど達成できなかった)

[埼玉県南部保健所]

具体的な取組 と スケジュール ※計画期間は、 令和6～11年度	・薬局等（薬局、薬局製剤製造・製造販売業、店舗販売業、卸売販売業、再生医療等製品販売業、医療機器販売業等）の監視指導 100件以上(通年) ・薬物乱用防止対策の推進 講習の実施及び講師派遣 3回/年以上（通年） 啓発キャンペーンの実施 1回/年以上（6～8月） ・毒物劇物製造業者等（製造業、輸入業、一般販売業、農薬用品目販売業、特定品目販売業）の監視指導 15件以上（通年）
関連する指標	(現状を示す指標)
	(目標とする指標)
年度ごとの 取組実績 (令和6年度)	・薬局等の監視指導 83件の監視指導を実施した。 ・薬物乱用防止対策の推進 ①学校で実施される薬物乱用防止講習会に、南部保健所管内薬物乱用防止指導員を3回派遣した。 ②5月に薬物乱用防止指導員を対象に講習会を実施した。 ③6月に薬物乱用防止啓発キャンペーンを実施した。 ・毒物劇物製造業者等の監視指導 23件の監視指導を実施した。
自己評価	☒ A (ほぼ目標が達成できた) ☐ B (半分程度目標が達成できた) ☐ C (ほとんど達成できなかった)